

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年9月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670300765号
法人名	有限会社 三井・メディックス
事業所名	グループホーム 上祓川
所在地	鹿児島県鹿屋市上祓川町8469-1 (電話) 0994-40-5130
自己評価作成日	平成23年6月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの理念は、「住み慣れた地域の中で、笑顔で満足～あきらめない～」です。利用者様の「出来ること」を、生活の中に活かすことができるように、私達職員が意識して関わる事を目的としています。例えば、歩行が困難で車椅子レベルの方でも、車椅子は移動の手段として使用し、食事の際や昼間はソファや椅子に移るなど、日常生活の中で無理なく起立する場面を多く作る事で、下肢の筋力を保つことを目的としています。排泄面では、安易にオムツを使用するのではなく、排泄の間隔を確認しパターンを把握する事で、タイミングを図りトイレに座り排泄できるようになりオムツを使用せずに生活送る事ができる場合もありました。私達職員の、取り組みにて利用者様が何か一つでもできたり、維持できる事で、利用者様の生活に意欲が出てきたり、ご自分がやりたい事が増え、それが可能になることで自然に自信を取り戻してくる姿も見られています。利用者様の笑顔が増えることで職員も、取り組んできた事がその方に反映する事を実感でき、やりがいにも繋がってきます。ホーム内で、委員会を設置し各職員で役割を持ち、日常的に取り組みもあります。また、毎月ミーティングの中で、利用者様に関する事やケアについてなど意欲的に意見を出し合い活気もあります。チームワークを意識し積極的に利用者様が楽しく明るく過ごせることを目的にケアに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「住み慣れた地域の中で笑顔で満足～あきらめない～」の理念を各職員、利用者も認識して生活しているホームである。運営推進会議も地域役職の方をはじめ、地域住民、家族代表など大勢の参加を得、詳細な資料をもとに充実した内容の濃い会議ができています。運営推進会議は地域の高齢者情報収集、ホームの防火訓練への住民の協力、また、認知症の理解、介護の勉強会などホーム・地域の活動に役だっている。なじみの人や場との関係継続の支援にも力をいれ、職員は利用者の背景を見て情報収集につなげ、介護サービスに活かしている。職員間のコミュニケーションが図られ、排泄の自立支援、清潔保持支援など個々に応じたきめ細かいケアを実施している。ホーム内には福祉用具が置かれ、利用者には安心・安全であり、職員には負担の少ない介護を推進している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「～住み慣れた地域の中で、笑顔で満足あきらめない」の理念の下、利用者様と関わる中で、できる事への可能性や方法などを職員で話し合い検討し、何か一つでもできることが増えることで、諦めずに利用者様、職員共に、自信を持つことが出来るようケアに取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、ホールやトイレに掲示している。日常のケアについて話し合い確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事などにも参加する機会を定期的に持つことが出来ている。また、近くの商店や有人販売所など地域の方々が利用する場所へ出かけ交流を深めている。	町内会に加入し、地域の協力を得て、棒踊り、文化祭、小学校の運動会、バザーの見学などに参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議の際に、認知症についての理解や支援方法などについて、話し合いを行っている。また、入所の申し込みの際に、相談を受けたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、市担当職員や地域住民代表者、ご家族代表者に参加して頂き、運営推進会議を開催している。防火訓練時の協力や助言を頂いたり、地域の行事の案内を頂くなどホームの活動に役立っている。	メンバーに消防団、交番職員も加わり定期的に開催できている。会議の内容も詳細な資料を基に有意義な話し合いができている。会議を持つことで地域の高齢者情報を貰ったりし、地域交流が密になり、理解も得られるようになってきている。全家族に議事録を配布し、家族からの信頼も得ている。	

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加して頂き、ホームの活動や取り組みなど報告している。また、事業所内で判断が難しいことや、問題発生時は市担当者へ相談し、協力を得られるように努めている。	困難事例の相談や情報の交換など協力関係ができています。生活保護受給者もいるので担当職員がホームを訪れることもあり、日頃から連携がとれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内での学習会やミーティング、また地域で行われる研修会に参加し、身体拘束「不拘束」について正しく理解できるように努めている。また、利用者様個々のケースなどを通して、職員で拘束を行わないケアを検討し取り組んでいる。	年1回は外部研修、内部研修を行っている。身体拘束廃止委員会を設置し、ミーティングや朝夕の申し送り時に話し合いを持ち、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は施錠せず、見守りを重視している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の学習会やミーティングで、高齢者虐待防止法について、定期的に話し合う機会を設けている。また、ホーム内にもポスターなどを掲示し職員一人一人が意識できるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学習会の内容に、成年後見人制度などについて、職員が理解を深めることが出来るよう取り組み学ぶ機会を設けている。		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族に時間を作って頂き、内容をわかりやすく伝えるようにしている。また、説明の中で、不安や疑問点など無いか確認を行ったり、ホーム内で起こりやすいリスクや現状などについても説明を行い同意を得た上で契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族からの要望など、ミーティングなどにて職員で対応など検討する機会を作っている。面会時などにも、話しやすい雰囲気を作り、ご家族から意見や要望など遠慮なくだして頂けるように努めている。	ホーム便りは毎月作成し送付している。面会、電話連絡時、年3回の家族参加行事の時に意見を聞き出すようにしている。3ヵ月に1回状況報告を家族に送付し、意見、提案など貰っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送りや毎月のミーティングなどの機会に、職員から意見を出してもらい全体で話し合い検討を行っている。代表者もミーティングに参加し、意見を聞く機会を設けている。	申送りと毎月全員参加のミーティングで情報の共有ができています。働きやすい職場環境のため、職員からの意見、提案は多く、利用者へのサービスの質の向上に活かされている。全職員は常勤で、各々の委員会に配属され、誇りや責任感を持って働いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者はミーティングに参加し、職員の意見や要望などを聞く機会を設け、職員が働きやすく、やりがいを感じられるように職場づくりを行っている。		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内の年間学習会内容の計画に基づき毎月実施している。職員間で自由に意見を出し合ったり、お互いから学ぶ機会を持てるように、グループワークを取り入れたりしている。ホーム外の研修にも積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月の学習会では、同法人内のスタッフと合同で行っており、お互いに交流を行う機会がある。また、大隅地区グループホーム協議会の研修などにて、他事業所とも情報交換や交流する機会がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の相談がある時は、利用者様に会って、現在の状況や不安、困りごとなど、ゆっくりと話を聞きながら把握するように努めている。利用者様の状況によっては、ご家族や関係者の方に、お話を伺うようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用の相談時に、ご家族の介護状況や不安、困っていることなどを伺い把握し、ホームでの対応やサービス内容を話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の相談を受けた際は、家族の思いや生活状況などを伺い、地域や担当ケアマネージャーなどの関係者と連携し、必要なサービスに関して情報を提供し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、自ら利用者様が出来る家事などお手伝いして下さる場面も多く、手伝いいただいた際は、感謝や気持ちや労いの言葉をかけ、また、職員も一緒に行ったりと、お互いに学ぶ機会や協働することを意識して関わっている。		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の生活状況や気になる事などある時は、その都度ご家族に報告や相談を行い、ご家族からの情報や意見などを取り入れ、一緒に検討するようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所に伴い、なじみの場所や人との関係が崩れないように、今までに利用していた美容室や商店、自宅周辺などに出かけることが出来るように支援している。	近所の人や友人が入居者の面会に訪れたり、病院受診の帰りにお寺、墓参り、行きつけの店での衣類購入などの支援をしている。他のグループホームに入所している友人の面会やデイサービス利用の友人に会いに行ったりして関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、トラブルなどに発展しないように職員間で情報を共有しながら、お互いに良い関係が保てるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した例は無いが、終了した場合でも気軽に遊びに来て頂いたり、家族の相談などに対応できるようにしていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者様の思いや要望など聞き把握できるようにしている。本人自ら上手く表現できない方などは、ご家族からの情報や生活状況などを含め検討している。	家族からの情報、日常生活の関わりの中で思いを把握し、ミーティングの中で職員全員で検討している。なじみの人や場との関係継続支援から得る情報も思いや意向把握に結びついている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様やご家族との関わりを通して、現在までの生活状況や人との関わりなどを知る機会も多い。また、医療機関や他施設などからも情報頂くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様個々の排泄や水分・食事摂取量など確認できるように記録している。また、1日の過ごし方や出来事、ケアに対する反応や変化など記録に残し把握できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様との関わりを通し、本人が望んでいることを把握し、家族や主治医、他関係者などの意見も参考に取り入れ、職員全体で話し合い、本人が望む暮らしに近づくことが出来るように計画を作成するようにしている。	3ヵ月に1回家族の意見、提案を書いてもらっている。介護計画についても家族も理解、認識の上で話し合いを持ち、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の形式があり、利用者様の言動、その時の状況、その中で原因や背景を振り返りながら、ケアの方法を工夫したり、再度検討する際に、情報を確認共有できるように個別に記録してる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制を活かし、利用者様にとって負担となる長期入院を避け、早期退院を支援している。ご家族や利用者様の要望に応じて、お墓参りや自宅への外出支援、通院介助など柔軟に対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議のメンバーの中に、町内会長や消防団、警察の方などを含めており、地域の中で安心して利用者様が生活できるように、ホームの状況を把握して頂いたり意見を交換する機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様のかかりつけ医や、ご家族の希望する医療機関への受診介助を行っている。また、必要時には専門医へ紹介して頂いたり、相談など連携を図りながら適切な医療を受けることができるようにしている。	利用者全員、ホームの方で受診同行している。受診後は家族に電話や月末の便りで報告している。ホームに看護師も常勤し、日々の健康管理ができています。	

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当ホームに看護師を配置し、日々の健康状態の確認や観察を介護職員も一緒に行っている。利用者様の急な体調変化などには、看護師への連絡、相談などを行う体制をとり、早めに対応できるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者様の入院時には、ホームでの生活状況などの情報提供を行っている。また、ご家族や主治医、医療機関スタッフなどと話し合い、病状が安定したら早期に退院できるように連絡調整を行うようにしている。入院時は定期的に面会を行い、利用者様との関係を保てるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を定め、終末期になった際、ご家族や利用者様の要望に沿えるように、ホーム職員、主治医、医療機関などで話し合いを行い、ケア方針などを検討するようにしている。また、利用者様の体調変化やご家族の意向などに変化があれば、再度話し合いを行い検討している。	入居の時点で看取りに関するホームの方針を説明している。身体状況に応じてプランを作成し、同意を貰っている。往診、訪問看護を取り入れた看取りの経験もあり、職員もターミナルケアの勉強会を重ね、本人本位のケアを支援できている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や急変時の対応マニュアルを作成している。学習会や消防署で実施される研修などに参加し応急手当や急変時の対応な実践できるように努めている。		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は防火訓練を実施し、地区の消防組合や消防団と一緒にいき、指導や助言を頂いている。また、運営推進会議の中でテーマとして取り上げ、避難の方法や協力体制などを話し合う機会がある。	地域の協力を得て避難訓練、防火訓練が実施できている。台風に伴う停電時の対策など運営推進会議で意見や助言をもらっている。スプリンクラー、通報装置も設置されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月のミーティングや学習会の中で、利用者様への言葉遣いや対応など振り返る機会を作り職員個々に意識できるように取り組んでいる。また、排泄や入浴時などプライバシーの保護に努めている。	定期的に勉強会を行い、職員は利用者に対する、言葉遣いなどの対応や心がけができています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との関わりを通して、希望や本人がやりたい事、興味のあることを把握し、職員間で共有できるようにしている。入浴の順番や外出など本人の希望に応じられるように対応をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを職員は理解し個々に合わせて支援を行っている。起床や就寝、食事の時間や入浴の順番など本人の生活スタイルを崩さないように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝の着替えの際など、利用者様本人が衣類を選択し着用できるよう声掛けを行っている。顔そりや髪染めなど職員でも対応し、利用者様が希望する美容室の利用なども支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な利用者様には料理の下ごしらえなどをお手伝い頂いたり、買い物に一緒に出掛け食材を選んだりする機会を設けている。個々の好き嫌いを把握し、メニューの工夫を行ったり季節を感じる事が出来るように、旬の食材を取り入れたりしている。	職員に栄養士もいて、口腔・栄養委員会のメンバーを中心に毎月、献立を作成している。利用者も参加し、ホットプレートで焼きそばやお好み焼きを作ることもある。東屋で雰囲気を変えて食事したり、外食やお弁当持参の花見に出かけている。トロミ食やミキサー、キザミ食の利用者もいる。	

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事や水分摂取量をチェック表に記録し把握している。必要な水分や栄養の摂取が難しい利用者様には栄養補助食品や嗜好品などを取り入れるなど検討し栄養状態が保てるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い実施している。誤嚥しやすい利用者様もおり、一人独りに応じた介助の方法で口腔ケアを実施し、口腔機能の維持と清潔保持に努めている。また、週に1回は口腔内観察シートを記入し、口腔内の異常の有無や義歯の状態など確認している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し記録することで個々の排泄パターンを把握できるようにしている。日中はトイレでの排泄を基本とし、個人に合わせた排泄介助を検討したりタイミングを図るようにしている。排泄委員会を設置し、個人に応じたオムツの種類を検討したりオムツの必要の有無を話し合う機会を設けている。	排泄委員会を設置し、全員がトイレでの排泄ができるよう支援している。個々の排泄状態を把握し、段階に応じた働きかけを全職員で取り組み、改善できている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立に、食物繊維やミネラルを多く含む食品や大豆製品を多く取り入れている。また、体操や活動を取り入れ運動による働きかけを行ったり、便秘がちな利用者様には、牛乳や水分を勧めている。便秘が持続する際は、主治医へ下剤の調整など相談し対応している。		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を楽しみにされている利用者様も多く、毎日実施している。入浴の順番などの希望もあり、可能な限り本人の希望に応じている。逆に入浴が億劫な方もおり、声掛けの工夫やタイミングを図り、入浴しない日が続かないように配慮している。	毎日、入浴できる。入浴用リフトが設置してあり、利用者は浴槽にゆっくり入れる。身体状況に応じてはシャワー浴、清拭、足浴で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間はゆっくりと睡眠がとれるように、日中は活動を促している。利用者様によって、昼間休息の時間を取り入れている方も居るが、睡眠と休息のバランスなど把握し、昼夜逆転しないように注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に「薬剤管理表」をファイルし、薬の内容や副作用、用法なども確認できるようにしている。服薬支援も個人の能力に応じて、手渡しや口まで運ぶなどと異なる。確実に服用できるように、服薬確認担当者を決めて対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年間行事計画を立て誕生日会や外出など実施している。部分的な家事への参加にて自分の役割になっている方や、買い物やドライブなどを楽しみにされている方も多く、定期的に機会を設け維持できるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出が楽しみな利用者様が多く、近所の商店などに買い物に出かけたり、散歩や自宅へ家族の協力を得て外出したりすることも多い。また、お花見や外食などホーム内の行事を計画し実施している。	日常的にホーム周辺の散歩や買い物を楽しんでいる。病院受診の帰りに自宅周辺、お墓参りなど希望に応じて対処している。2ヵ月に1回は花見などを計画し、外出支援している。	

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については、ご利用者の能力を含めご家族と検討している。利用者様自身でお金を管理している方はいないが、買い物などに出かけた時、ご自分で財布より支払い行っていただく場面作りを行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけたり会話できる方は、自ら電話を使用されることもある。また、家族からの手紙に返事を書くなど、職員も手伝いながら、やり取りができるように対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースは、利用者様が不快に感じるようなことが無いように整理整頓に努めたり、室温や湿度の調整にも心がけている。また、トイレなどの清潔にも心がけ、汚物の処理なども新聞に包み廃棄するなど臭いにも注意している。居間の壁には季節感を得られるように利用者様と一緒に作った壁飾りなどを装飾するなどの工夫を行っている。</p>	<p>天井が高く天窓のあるリビングは開放感があり、換気、採光の良い空間である。利用者がくつろげるようになっている。テレビを前にソファが配置され、落ち着ける場所になっている。トイレ、洗面所も車椅子対応の設備がされ、使いやすい工夫ができています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれに自分の好む場所、ソファの座る場所などを決められており、落ち着く場所になっている。仲の良い利用者様同士ゆっくり会話したり時にはテレビを見たり過ごされている。</p>		

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していたタンスや衣装ケース、椅子などを置いて、本人が居心地良く安心できる居住作りに努めている。ご家族の写真や好みのものを飾り家族の温もりやを感じることが出来るように工夫している。</p>	<p>ベットはホームで用意されているが、利用者のこれまでの生活スタイルを継続できるように布団敷きの居室もある。ラジオ、タンス、椅子、テーブルを置き、家族の写真や好みのものを飾り、居心地よく過ごせる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレ、浴室など利用者様がわかるように張り紙を行ったり写真を飾るなど混乱しないように工夫している。また、混乱や失敗が生じた際は、職員間で話し合い、わかる方法などを、再度検討するように努めている。</p>	/	/

鹿児島県 グループホーム上祓川

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム上祓川

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム上祓川

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない